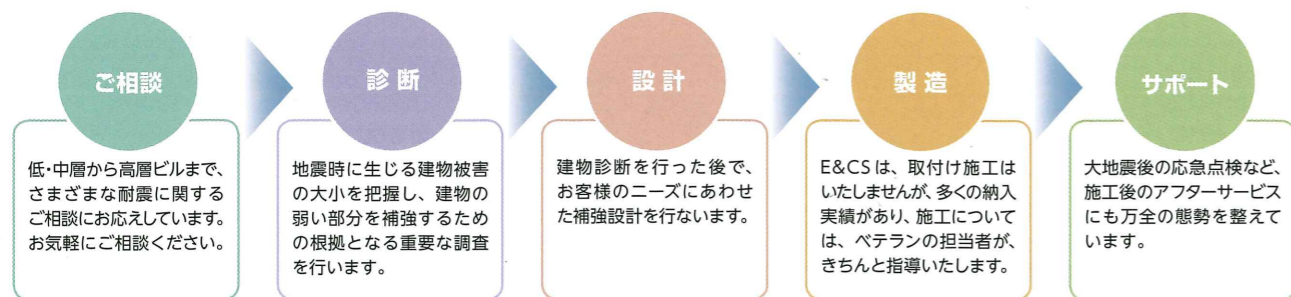


耐震ソリューションの流れ



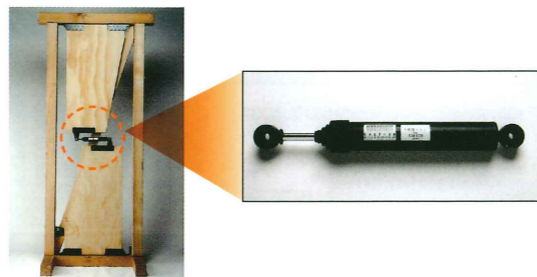
その他耐震工法

強度型補強工法

トグルの回転支障部材(鍛造品)を使用した強度型プレースの補強工法です。トグル制震装置の製作ノウハウを活用していますので低コストで提供できます。設計仕様等の詳細はお問い合わせください。

木造用制震工法

オイルダンパーを用いた木造の戸建て住宅用の制震技術です。新築時の設置、既存建物の耐震化どちらでも対応できます。すでに3000棟以上の実績があります。低価格で安心、安全を実現できます。施工も容易でメンテナンスフリーです。



トグル制震構法®

増幅機構付油圧制震プレース

E&CS
Environment · Construction · Solutions

先進の耐震技術ソリューション

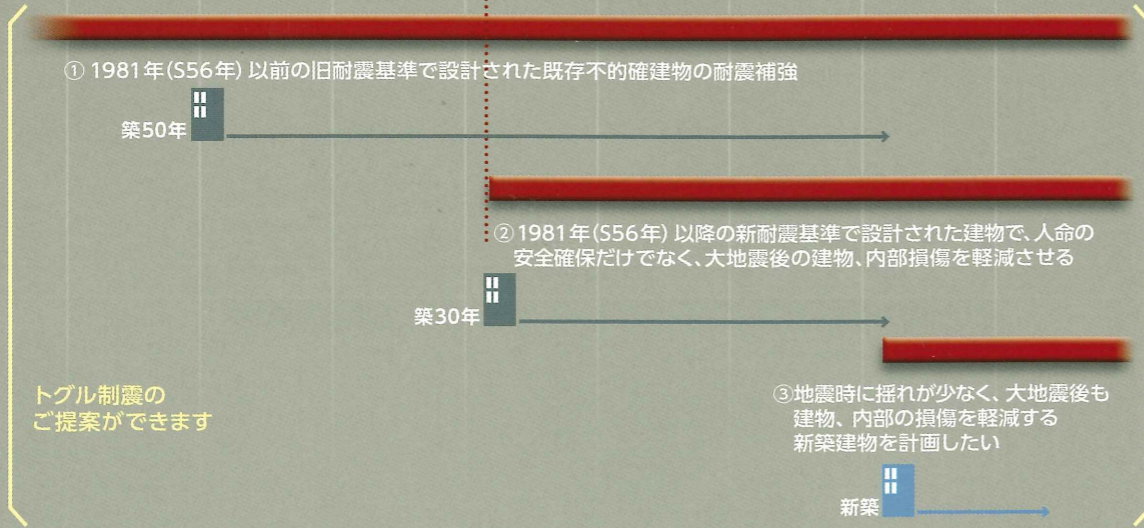
E&CS 株式会社 **E&CS** ☎0120-109-686 <http://www.kk-ecs.co.jp>

トグル制震事業部 東京：〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 5階 TEL: 03-6455-8431 FAX: 03-6455-8434
トグル制震事業部 大阪：〒541-0045 大阪市中央区道修町 3-4-10 損保ジャパン日本興亜道修町ビル TEL: 06-6227-4040 FAX: 06-6227-6870

本社：〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 5階 TEL: 03-6455-8430 FAX: 03-6455-8434
建設サービス部：〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 5階 TEL: 03-6455-8432 FAX: 03-6455-8435
首都圏支店：〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 5階 TEL: 03-6455-8433 FAX: 03-6455-8435
大阪支店：〒541-0045 大阪市中央区道修町 3-4-10 損保ジャパン日本興亜道修町ビル TEL: 06-6227-4040 FAX: 06-6227-6870
九州支店：〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 5-14-12 南天神ビル 9F TEL: 092-771-0029 FAX: 092-771-6620

1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

1923 関東大震災
1948 福井地震
1981 新耐震基準
1993 北海道南西沖地震
1995 阪神・淡路大震災
2003 十勝沖地震
2004 新潟県中越沖地震
2007 新潟県中越沖地震
2011 東日本大震災



ますます、耐震化が急がれています。

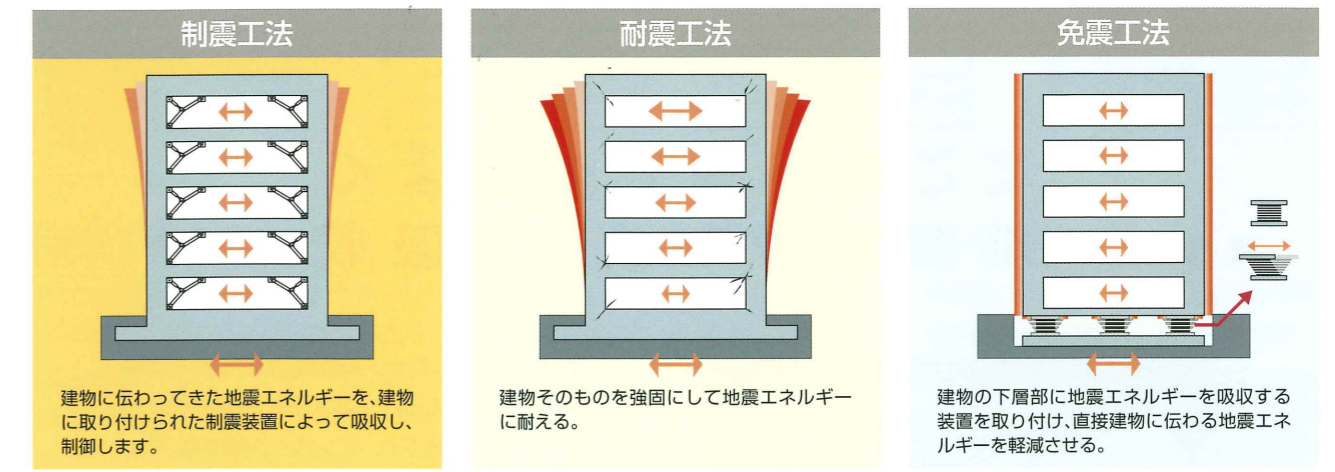
世界有数の地震大国である日本。古くは日本書紀にも地震が記述されており、20世紀に入ってから関東大震災(1923年)、北海道南西沖地震(1993年)、阪神・淡路大震災(1995年)、そして未曾有の大被害をもたらした2011年3月の東日本大震災…と、記憶に新しい大地震だけでも枚挙にいとまがありません。

1981年(昭和56年)、国が定める建築基準法の「新耐震基準」が設定され、これ以降に建築された建物は、一般的に震度6強程度の大地震にも耐えられるようになっています。しかし、それ以前の「旧耐震基準」で建てられた建物は、大地震には耐えられない可能性があります。外観上問題がまったくない建物であっても、大地震に耐えられずに崩壊する危険性を秘めているのです。そのため、建物の耐震化は、人命や財産を守るためにも急務となっています。

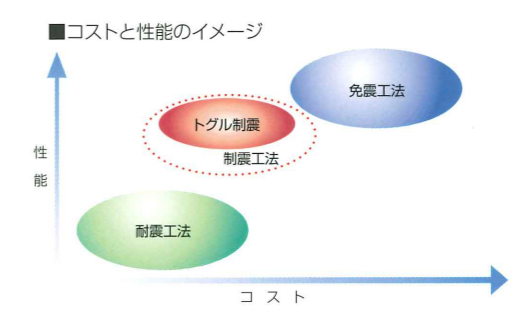


揺れを制し、長周期地震動にも効果的なのが「制震工法」です。

3種類ある耐震性を良くする技術



3種類の耐震技術の中で、コストと性能のバランスがよく、すぐれた性能を発揮します。



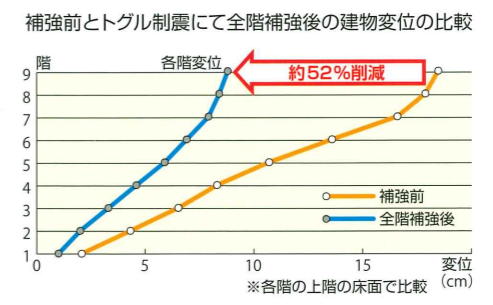
大震災後のお客様の声

「制震装置での改修を早く行って良かった」
T 庁舎様より

「制震と耐震を比較すると建物、備品の被害は制震の方が少なかった」
T 大学様より

揺れを制するのが「制震工法」

それぞれ優れた特長をしていますが、「制震工法」の制震技術は、鉄道車両や自動車のショックアブソーバーなど揺れを抑える技術として身近なものに採用されています。「制震工法」は、建物の損傷や室内家具、電化製品の転倒、揺れによる恐怖を軽減させることができます。



大震災後のお客様の声

「書棚、書籍の落下なし。防災拠点としての使命をはたしている」
M 市庁舎様より

「棚、ロッカーの転倒は大変少なかった。他ビルでは転倒が多かったようだ」
S 市庁舎様より

長周期地震動にも高い効果を発揮するのが「制震工法」

「制震工法」は、最近問題になっている「長周期地震動」に対しても効果が高いといわれています。特に高層ビルの場合、この長周期地震動ではゆっくりとした揺れが長く続く傾向があり、建物自体に損傷がない場合でも室内で大きな損傷が発生してしまうと考えられています。

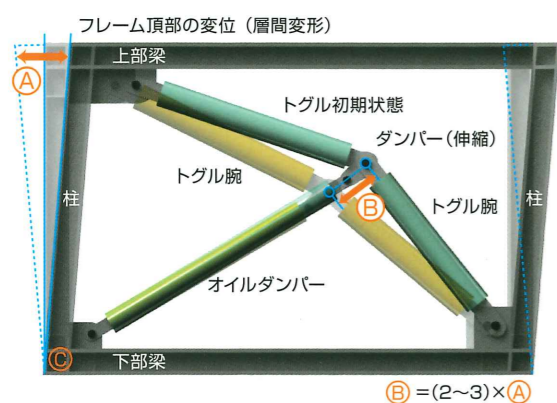


トグル制震構法の2大特長が多くのメリットを生み出します。

トグル制震構法とは、トグル制震装置を建物に取り付けることにより、建物の小さな揺れから大きな揺れを抑えることができるものです。

1 特長

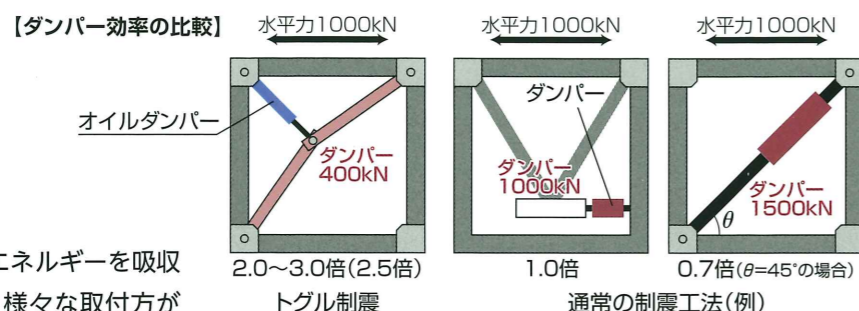
この原理で効率よく地震エネルギーを吸収



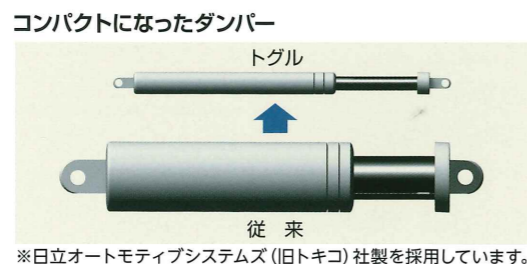
この原理を応用したトグル制震装置 (増幅機構付油圧制震ブレース) は、2本のトグル腕と1本のオイルダンパーで構成され、ダンパーの伸縮量②をフレーム頂部①の変位の2～3倍に増幅させています。このトグル機構により、地震エネルギーを効率よく吸収することができます。

2 特長

トグル機構によりオイルダンパーの性能が向上

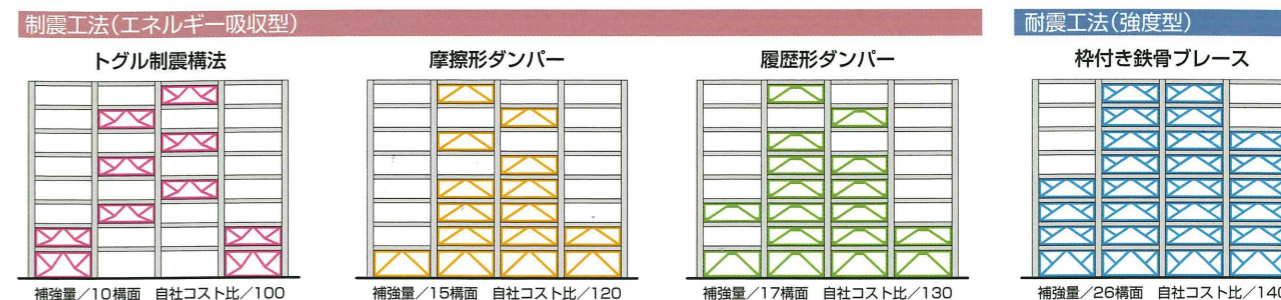


右図のように、地震エネルギーを吸収するダンパーには、様々な取付方があります。トグル制震装置はトグル機構により、オイルダンパーを動かす速度が速くでき、同じ性能をコンパクトなオイルダンパーで発揮することができます。オイルダンパーは半永久的に性能劣化がありません。



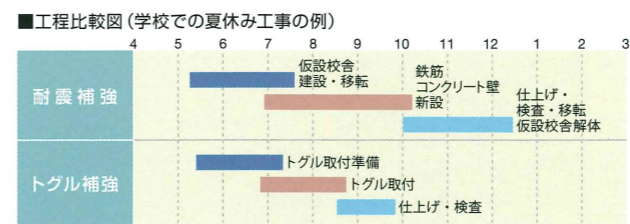
低コスト

トグル制震装置は、地震エネルギーの吸収効率が高いので、強度型補強や他の制震工法に比べ設置箇所数を5割～7割程度に減らすことができ、より、低コストで耐震化が図れます。



短工期で施工

トグル制震装置の大部分をあらかじめ工場で組み立ててから現場に運び、また補強量が抑えられるため、現場での施工が短工期ですみます。短工期のため、工事期間中の騒音・振動などによる苦渋期間が軽減できます。



設置箇所の高い自由度

北側面設置や建物片面設置、使用していない部屋への配置など、建物に合わせて設置箇所を決めることができます。



使いながらの工事が可能

トグル制震構法なら居住者やテナント様などの移動を極力少なくした施工が可能ですので、工事期間中の引越など余計な費用を大幅に抑えることができます。



繰り返しの余震にも安心

トグル制震装置の要であるオイルダンパーは、小さな揺れから大きな揺れまでも対応するだけでなく、その性能は半永久的に持続します。何度も襲ってくる余震による建物や内部家具等の損傷を軽減できます。



高いデザイン性

トグル制震装置は、コンパクトでシンプルなデザインのため、建物に調和した設置が可能です。



大震災後のお客様の声
 「トグル設置棟と一般棟の揺れが全然違った」
 Y大学様より
 耐震改修後に、震度4の地震に遭ったお客様の声
 「せいぜい震度2くらいに感じました。トグルの効果があったのではないかと思います。」
 熱海クリフサイド管理組合 理事長様より

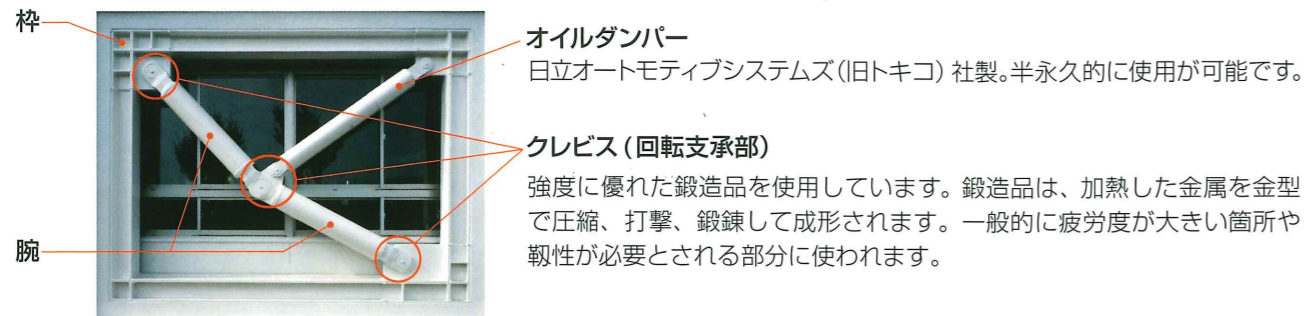
メンテナンスフリー

メンテナンスフリーです。

「トグル制震構法」の確かな性能と高度な設計。

製品紹介

ダンパー性能は、500kN タイプと 850kN タイプがあります。



取付パターン

トグル制震装置の形状は 1 枠 1 基、1 枠 2 基タイプがあります。



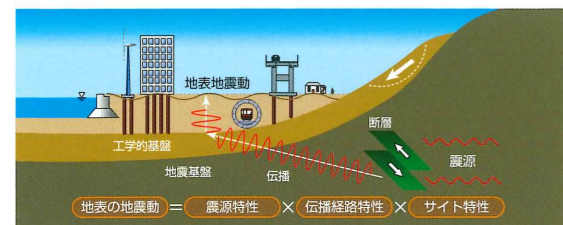
各種実験

実物大試験体による性能試験。オイルダンパーは、全品に性能試験を行っていますので、安心してお使いいただけます。



高度な設計技術

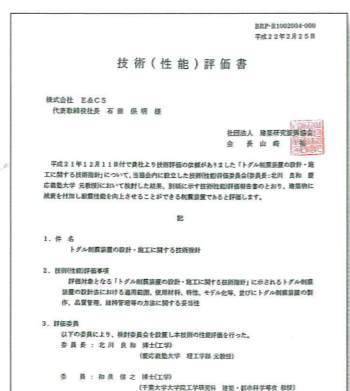
「時刻歴応答解析」を行い設計しています。「時刻歴応答解析」とは、超高層建物の新築設計時に使われる手法で、高度な設計技術と経験が必要です。また、サイト波の提供も可能です。



※サイト波：検討対象地点で想定される地震波

第三者機関にて、性能評価を取得

社団法人建築研究振興協会において、「トグル制震装置」の設計・施工に関する技術指針についての「技術(性能)評価書」を取得、建物全体の揺れを低減させることに有効な装置と認められました。



実績紹介

①: 建物概要 ②: 延べ床面積 ③: トグル基数

庁舎 ▶ 土日夜間を中心とした工事で、庁舎機能を損ねない施工が可能
▶ 災害時には防災拠点として素早い使用が可能



共同住宅 ▶ 「住みながら」施工が可能 ▶ 北側廊下への設置が可能 ▶ 南側バルコニーへの設置が不要
▶ 個人の専有部分には入らず、共用部分のみの工事が可能 ▶ 耐震改修により、資産価値が向上



事務所ビル ▶ テナント様が「入居されたまま」の施工が可能 ▶ 工事による引っ越しが不要な施工が可能
▶ 建物耐震化により、テナント離れを防止



教育施設 ▶ 夏休みや長期休暇での施工が可能 ▶ 教室を使いながらの施工が可能で、仮校舎が不要
▶ 地域防災拠点としての早期使用が可能



その他 ▶ 短工期施工により、施工による苦渋期間の軽減
▶ 建物に調和した設置が可能

